

資料の概要について

1 議事について

(1) 高知県安全安心まちづくり推進会議構成員による令和5年度取組実績及び令和6年度取組予定について

(資料1、2、3)

昨年度は、各事業者とも重点テーマについて積極的に取組がなされている。

テーマ「4 鍵かけ運動を進めよう」は、他の取組と比較すると活動が低調だが、「5 その他の取組」では、各団体が自らの強みや特色を生かした活動を行っている。

(2) 令和5年度取組実績等の公表について

議事(1)の内容(資料1、2、3)について、県民生活課ホームページで公表する予定である。

(3) 令和6年度の推進会議事務局の取組について(資料4)

消費者月間中の5月27日、幼稚園児とともに特殊詐欺被害防止啓発イベントを実施した。

各種報道機関によりその啓発活動が取り上げられる等、安全安心まちづくり推進運動について効果的な啓発ができた。

昨年大盛況だった防犯啓発イベント「安全安心まちづくりひろば」を、10月20日(日)にイオンモール高知で実施予定である。その他の取組も昨年に準じ、継続して実施予定である。

2 犯罪情勢及び交通事故情勢について

(1) 県内の犯罪情勢について(資料5)

近年、刑法犯認知件数は増加傾向にあり、今年も昨年同時期と比較して認知件数が約1割増加している。

特殊詐欺被害は、令和6年6月末時点で、**認知件数17件、被害額約1億3,388万円**であり、昨年同時期と比較して認知件数は同数だが、被害額は約3倍増加している。

また、今年もSNS型投資詐欺及びSNS型ロマンス詐欺の被害が急拡大しており、6月末時点で、SNS型投資詐欺の被害は**認知件数20件、被害額約3億5,578万円**と、SNS型ロマンス詐欺の被害は**認知件数16件、被害額約1億5,732万円**となっている。

いずれも危機的な状況であり、スピード感を持った取組が求められる。

(2) 県内の交通事故情勢について(資料6)

近年、減少傾向にあった全事故件数及び高齢者の事故件数が昨年は増加に転じた。

また、同じく減少傾向にあった交通事故死者数についても、令和6年6月末時点で前年同時期と比較して8人増加の12人(うち10人が高齢者)と増加傾向にあることから、あらゆる機会を通じて交通安全の啓発等を実施する必要がある。